



2026-09-25 終値時点 ・ FY26 第4四半期 (2026-06-30) までの決算 (10-K は 2026-07-29 提出)

マイクロソフト MSFT

マイクロソフトは優良企業。だが PER 26倍で、好材料はもう織り込み済み

本業は好調です。FY26 の売上高は \$331.8B (+17.8%)、営業利益は \$155.2B (+20.8%) で、Azure は通期で初めて \$100B を超えました。商業 RPO (残存履行義務: 契約済みで未認識の収益) は \$678B (+84%) です。開示資料との照合で、注意すべき点が3つ見つかりました。GAAP 利益には OpenAI の持分希薄化益 \$6.5B (税引前) が含まれています。会社の調整後ベースは OpenAI しか除外しておらず、第4四半期の Anthropic 投資益 \$3.2B は調整後 EPS に残ったままです。さらに設備投資が倍増してフリーキャッシュフローは \$71.6B から \$67.0B に減り、未開始のデータセンター賃貸借契約 \$329.1B はオフバランスです。市場環境では、FRB が9月に利上げし、米10年債利回りは 5.18% まで上昇しました。当銘柄の年初来騰落率は +7.4% で、S&P 500 とテクノロジー ETF に後れを取っています。

レーティング・12カ月・対 S&P 500 中立 2026-09-30 確定・レー ティングの定義	株価 \$516.17 2026-09-25 終値	時価総額 \$3,832.8B Technology	1年騰落率 +2.6% 年初来 +7.4%	今期予想PER 26.1x EPS 19.76 (アナリスト平 均)
次回決算 2026-10- 29 yfinance カレンダー				

01

相場環境

指数: 2026-09-25 時点で、S&P 500 は年初来 +13.1%、1年 +17.2%、ナスダックは年初来 +16.5% です。直近1カ月は明暗がはっきり分かれました。ナスダック +3.6%、ダウ -3.1%、ラッセル 2000 -5.6% で、資金は大型ハイテク株に集中しています。

セクター: テクノロジー ETF (XLK) は年初来 +36.8% ですが、当銘柄は +7.4% にとどまり、大型ハイテク株の中では出遅れています。ただし直近3カ月では +38.7% と S&P を 33.4 ポイント上回り、出遅れを取り戻しつつあります。

金利: 米10年債利回りは 5.18% で、1カ月で約 52bp 上昇しました。FRB は9月16日に 25bp 利上げしました。VIX は 14.9 と低水準で、市場に動揺は見られません。

当銘柄との関係（推測）：当銘柄の今期予想 PER は 26.1x で、選定した同業他社の中央値 19.4x を上回るため、割引率の上昇に敏感です。一方で会社は現金・短期投資 \$76.8B を保有し、FY26 の受取利息は \$3.3B でした（10-K）。利上げはこの部分には小幅なプラスです。S&P に対する1年ベータは 0.99 ですが、相関係数は 0.39 にすぎず、株価は主に自社固有の要因（AI 設備投資、OpenAI）で動いています。

指数とセクター

	直近	1週間	1カ月	3カ月	年初来	1年
S&P 500	7,743.41	+1.2%	+0.9%	+5.3%	+13.1%	+17.2%
ナスダック総合	27,068.72	+2.1%	+3.6%	+7.0%	+16.5%	+20.9%
ダウ工業株30種	51,828.62	+0.3%	-3.1%	-0.1%	+7.8%	+12.8%
ラッセル2000	2,837.55	-0.8%	-5.6%	-5.7%	+14.3%	+17.7%
Technology セクター ETF	196.27	+3.6%	+7.5%	+8.5%	+36.8%	+41.9%
MSFT	516.17	+4.5%	+4.0%	+38.7%	+7.4%	+2.6%

金利・ボラティリティ・相対パフォーマンス

VIX 恐怖指数 14.87 1カ月 -0.34	米10年債利回り 5.18% 1カ月 +52bp	ドル指数 100.97 1カ月 +1.80	対 S&P ベータ 0.99 1年相関係数 0.39	3カ月の超過リターン +33.4% 対 S&P 500	1年の超過リターン -14.6% 対 S&P 500
--------------------------------	--------------------------------	-----------------------------	----------------------------------	-----------------------------------	----------------------------------

マクロと市場の出来事

日付	出来事	この銘柄にとっての意味	出典
2026-09-16	FRB が 25bp 利上げし、政策金利を 3.75%–4.00% に。2023 年以来の利上げで、ドットチャートの中央値は 2026 年内にもう1回の利上げを見込む	金利上昇 → 高バリュエーションの成長株の割引率が上昇（推測）。当銘柄のバリュエーションは同業中央値を上回っており、影響はややマイナスです。手元資金の受取利息は小幅に増えます。	CNBC
2026-09 中旬	米10年債利回りが 5.135% に上昇し、2007 年7月以来の高水準に。ダウは3月以来最悪の週を記録	market.json では9月25日時点で 5.18% に達しています。長期金利の上昇は、デュレーションの長いハイテク株のバリュエーションの重荷になります（推測）。	CNBC
2026-09-09	米国とイランの衝突が激化し、原油は1バレル \$100 を突破、米国株は下落	エネルギー価格の上昇がインフレを押し上げ → 利上げ観測が強まる（推測）。データセンターの電力コストにも影響し得ますが、会社の開示資料はこのエクスポージャーを定量化しておらず、規模は不明です（確認できず）。	AP / The Columbian

イベント

2026-09-26

未確定 ニュース

報道：大手テック企業の AI インフラが中東に拡大、イラン紛争が打撃に

yfinance のニュース見出しのみで、記事本文は読んでいません。マイクロソフトの 10-K はデータセンター資産を地域別に開示しておらず、このエクスポージャーの大きさは不明です（確認できず）。

出典：Yahoo Finance（标题）

2026-09-23

好材料 レーティング

Stifel が格上げ：ホールド → 買い、目標株価 \$530 → \$575

数少ない慎重派が強気に転じたことは、センチメント面でプラスです。同じ週に Oppenheimer（\$515 → \$570）と Cantor（\$522 → \$608）も目標株価を引き上げました（yfinance のレーティングデータ）。具体的な根拠はレポート原文を読んでおらず、確認できず。

出典：yfinance 评级变动；CNBC 报道标题

2026-09-02

中立 8-K

FY27 から報告セグメントを2つに再編：Agents and Infra と Devices and Consumer

合計額は変わりませんが、Azure の定義が変わります。GitHub と Security Copilot が M365 クラウドに移り、FY26 の Azure 成長率は 41% から 40% に、第4四半期は 43% から 42% に修正再表示されました。今後、旧基準と比べる際は再表示後の数字を使う必要があります。FY27 第1四半期の Azure ガイダンスは新基準で 44-45%（為替一定）です。

出典：8-K item 7.01（2026-09-02）

2026-07-29

未確定 会社発表

10-K が未開始のデータセンター賃貸借 \$329.1B と購入コミットメント \$194.1B を開示

AI 需要に備えた生産能力の積み上げであり、同時に将来の固定費でもあります。リースは FY27-FY33 にかけて順次開始し、開始後はリース負債と減価償却費が発生します。リターンにつながるかどうかは、Azure と AI の需要が続くかにかかっています。

出典：10-K（2026-07-29）附注 13

2026-07-29

好材料 決算

FY26 第4四半期決算：売上高 \$90.0B（+18%）、GAAP EPS \$4.81、調整後 \$4.74

売上高、営業利益、EPS のいずれも会社ガイダンスを上回りました。Azure は +43%、商業 RPO は \$678B（+84%）です。ただし会社自身が、一時的項目によって EPS がガイダンスを \$0.27 上回ったと説明しており、その中には Anthropic 投資益 \$3.2B が含まれます。これを除いても上振れですが、見かけの 11.8% よりは小幅です。

出典：8-K item 2.02（2026-07-29）

取締役の Reid Hoffman 氏が再任を求めず
赤は好材料、緑は悪材料（中国式の配色）、灰色は中立、青はまだ判断できないもの。
8-K には経営陣との意見の相違はないと明記されています。5月には別途取締役1名が新たに選任され、監査委員会と報酬委員会に加わりました。
過去90日のアナリスト評価の変更（35件、直近12件を表示）

出典: 8-K Item 5.02 (2026-08-05)

日付	機関	動き	評価	目標株価
2026-09-23	Stifel	up	Hold → Buy	530 → 575
2026-09-22	Oppenheimer	main	Outperform → Outperform	515 → 570
2026-09-21	Cantor Fitzgerald	main	Overweight → Overweight	522 → 608
2026-09-15	Citizens	reit	Market Outperform → Market Outperform	550 → 550
2026-09-04	Stifel	main	Hold → Hold	450 → 530
2026-09-01	B of A Securities	main	Buy → Buy	500 → 600
2026-08-12	Wells Fargo	main	Overweight → Overweight	650 → 700
2026-08-05	Tigress Financial	main	Buy → Buy	680 → 690
2026-07-30	Bernstein	main	Outperform → Outperform	646 → 647
2026-07-30	Citigroup	main	Buy → Buy	570 → 600
2026-07-30	RBC Capital	reit	Outperform → Outperform	640 → 640
2026-07-30	Stifel	main	Hold → Hold	400 → 450

yfinance の集計で、個別には検証していません。up 引き上げ、down 引き下げ、main 据え置き、init 新規、reit 再表明。

03

レーティングとスコアカード

当社のレーティング

中立 今後12カ月のトータルリターンが S&P 500 と±10ポイント以内と予想・スコアカード加重点 3.20

発行者の判断：中立。ルールによる推奨と同じです（スコアカード加重点 3.20）。会社は素晴らしいが、いまの株価はすでに好材料を織り込んでいます。

事業は同業で最も強い部類。 FY26 の売上高は3,318億ドル（+17.8%）、営業利益は+20.8%。Azure の伸びは40%から43%に加速し、営業利益率45.1%は同業トップ、財務はネットキャッシュです。

ただし株価は安い。 今期（FY27）PERは26.1倍で、同業中央値19.4倍より約35%割高です。株価は高値まで約4%の位置にあり、3カ月・6カ月では S&P500 を上回っています。

利益には水増し分がある。 GAAP 利益には OpenAI の持分希薄化益65億ドル（税引前）が含まれ、調整後 EPS にも第4四半期の Anthropic 投資益32億ドルが残っています。設備投資は倍増し、フリーキャッシュフロー / 純利益はわずか0.50倍。さらに、まだ開始していないデータセンターのリース3,291億ドルがバランスシートに載っていません。

判断を変える条件： 株価の調整でバリュエーションのプレミアムがはっきり縮むか、Azure がさらに加速し利益が投資益に頼らなくなれば格上げ。AI 設備投資の増加に売上が追いつかない、あるいは10月29日の FY27 第1四半期決算で成長鈍化が示されれば格下げです。

レーティングは公開情報にもとづくリサーチ上の見解で、特定の個人の資産状況を前提にしたものではありません。ルールと分布はレーティングの定義

ファンダメンタルズ	バリュエーション	モメンタム	決算の質	リスク
4 / 5	2 / 5	3 / 5	3 / 5	4 / 5

リスクの点数は高いほどリスクが低いことを示します。5項目の加重点から推奨レーティングを出し、発行者が確認して確定します。

この点数の理由

ファンダメンタルズ 4 / 5

売上高成長率は 10-20% の区分で4点です。営業利益率は直近4四半期で 48.9% から 45.1% に低下しましたが、主に季節要因です。前年同期の第4四半期は 44.9% で前年比ほぼ横ばいのため、減点しません。売上総利益率は前年比 1.4 ポイント低下（68.6% → 67.2%）し、10-K は AI インフラへの投資を理由に挙げています。Azure の成長は加速している（40% → 43%）ものの、全体の売上高成長率が 20% を超えていないため、5点は付けません。

売上高 TTM +17.8%、第4四半期 +17.7%；第4四半期の営業利益率 45.1%（前年 44.9%）；ROE 34.0%

バリュエーション 2 / 5

今期（FY27）予想 PER は 26.1x で、選定した同業他社の中央値 19.4x を約 35% 上回り、2点の区分に入ります。PEG は約 1.3（26.1 ÷ 予想 EPS 成長率 19.8%）で、調整はしません。同業のうち AAPL はハードウェア中心、ORCL は高レバレッジで比較可能性が限られるため、この項目の確度は中程度です。

今期予想 PER 26.1x、同業中央値 19.4x；FY27→FY28 の予想 EPS 成長率 19.8%

モメンタム 3 / 5

短期は強く、長期は弱い形です。3カ月と6カ月では S&P を上回り、1年と年初来では下回っています。株価は 50 日移動平均（+9.0%）と 200 日移動平均（+19.5%）を上回り、1年の最大ドローダウンは -34.5%（底は 2026-06-25）、現在は高値から -4.0% の水準です。強弱のシグナルが混在しているため3点とします。

超過リターン 3M +33.4%、6M +23.7%、1Y -14.6%、YTD -5.7%

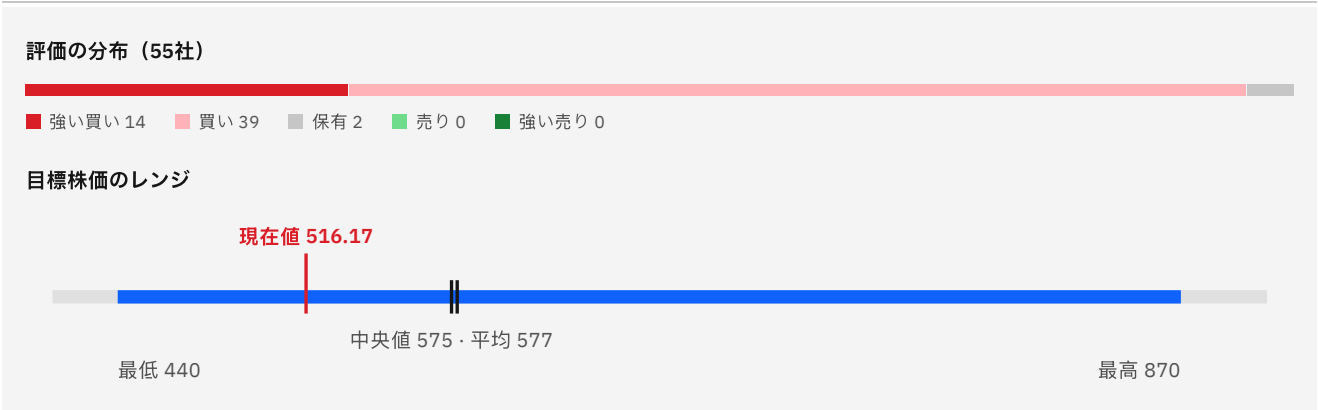
決算の質 3 / 5

5点から2点を減点しました。① FY26 のその他収益は \$10.7B で税引前利益の 6.4% ですが、第2四半期単独では 20.7% に達します。主因は OpenAI の持分希薄化益で、現金ではなく会計上の利益です（10-K、2026-07-29）。② 調整後 EPS には第4四半期の Anthropic 投資益 \$3.2B が残っており、通期の調整後その他収益は \$4.2B です（8-K と 10-K、2026-07-29）。FCF / 純利益は 0.50 ですが、原因は会社が説明済みの AI 設備投資なので減点しません。売上債権回転日数は前年比横ばい（82 日対 83 日、推定）で、減点しません。

営業外収益の税引前利益に占める比率：通期 6.4%、第2四半期 20.7%；FCF \$67.0B／純利益 \$133.7B

5点から1点を減点しました。未開始のリース \$329.1B は時価総額の約 8.6%、年間営業キャッシュフローの 1.8 倍に相当し、基準を超えています（10-K 注記 13）。その他の項目は減点しません。1年ボラティリティ 32.8%、最大ドロウダウン -34.5% はいずれも基準内です。OpenAI は売上高の 7.3%、売上債権の 7.4% で 10% を下回ります。債務元本 \$46.1B に対し現金・短期投資は \$76.8B で、ネットキャッシュです。

ウォール街の見方未開始リース \$329.1B ; OpenAI 売上高 \$24.1B (7.3%) ; ボラティリティ 32.8%



yfinance の集計、アナリスト52人、更新時期は不明。分布を示すだけで、目標株価を裏づけるものではありません。

決算を読み解く

四半期業績

四半期末	売上高	前期比	前年比	粗利率	営業利益率	純利益	希薄化後 EPS	営業CF	フリーCF
2025-06-30	\$76.4B	+9.1%	+18.1%	68.6%	44.9%	\$27.2B	–	\$42.6B	\$25.6B
2025-09-30	\$77.7B	+1.6%	+18.4%	69.0%	48.9%	\$27.7B	3.72	\$45.1B	\$25.7B
2025-12-31	\$81.3B	+4.6%	+16.7%	68.0%	47.1%	\$38.5B	5.16	\$35.8B	\$5.9B
2026-03-31	\$82.9B	+2.0%	+18.3%	67.6%	46.3%	\$31.8B	4.27	\$46.7B	\$15.8B
2026-06-30	\$90.0B	+8.6%	+17.7%	67.2%	45.1%	\$35.8B	–	\$55.4B	\$19.6B

出典：SEC XBRL。フリーキャッシュフロー＝営業キャッシュフロー－設備投資。第4四半期の EPS は XBRL に欠けることが多く、会社発表の数字を優先します。

バリュエーション

基準	EPS	PER
GAAP、直近12カ月	17.96	28.7x
調整後、直近12カ月（アナリスト基準）	17.28	29.9x
今期予想（0y）	19.76	26.1x
来期予想（+1y）	23.68	21.8x

FY27 の予想 EPS は \$19.21–\$20.70 で、予想のばらつきは小さめです。FY28 は \$22.08–\$26.00 と、ばらつきがかなり大きくなります。調整後の過去12カ月 EPS \$17.28 は会社

公表の FY26 non-GAAP EPS と一致しますが、OpenAI 以外の投資益が1株当たり約 \$0.45 (推定) 含まれています。

現在の株価で計算。予想 EPS は yfinance が集計したアナリスト平均で、調整後ベースです。

決算書が語っていること

yfinance の売上高、営業利益、純利益、GAAP EPS、営業キャッシュフロー、売上債権、棚卸資産は、XBRL と四半期ごとに突き合わせて差異 0.0% でした。問題は派生指標と、開示資料にしかない背景に集中しています。

利益に含まれる OpenAI 関連益: yfinance では第2四半期の純利益 \$38.46B が営業利益を上回り、第4四半期の GAAP EPS は前年比 +31.7% です。10-K によると、通期のその他収益 \$10.7B のうち OpenAI 関連の純利益が \$6.5B (税引前) で、「主に OpenAI の組織再編に伴う持分希薄化益」です。持分は約 25% (転換後ベース) で、HLBV 法 (仮想清算時に受け取れる額で測定する方法) で会計処理しています (10-K、2026-07-29)。これを除くと、通期の純利益成長率は 31% ではなく 22% です。

調整後 EPS に含まれる Anthropic 関連益: yfinance では第4四半期の調整後 EPS は \$4.74 で、市場予想を 11.8% 上回りました。プレスリリースには、第4四半期に Anthropic 投資益 \$3.2B が含まれ、一時的項目の合計で会社ガイダンスを1株当たり \$0.27 上回ったと明記されています (8-K、2026-07-29)。通期の調整後その他収益は \$4.2B (前年 -\$0.1B) で、税率 19% で換算すると1株当たり約 \$0.45 (推定) となり、すべて \$17.28 に含まれています。

フリーキャッシュフローは減少: 営業キャッシュフローは \$182.9B (+34%) ですが、有形固定資産の取得が \$115.9B (前年 \$64.6B) に膨らみ、フリーキャッシュフローは \$67.0B と前年の \$71.6B を下回りました。このほか、新規のファイナンス・リース資産 \$24.6B (非現金) と、「主に部品調達向け」のその他投資支出 \$19.9B は設備投資に含まれていません (10-K)。FY27 第1四半期の設備投資ガイダンスは「\$50B 超、耐用年数変更の影響を含む」ですが、変更の詳細は読んだ資料に見当たらず、確認できず。

売上債権の前四半期比 +34.7% は季節要因: 第4四半期は期末の請求が集中する時期です。回転日数は 82 日で、前年同期は 83 日 (推定) でした。通常の支払条件は 30-60 日で、OpenAI 向け売上債権は \$6.0B です (10-K)。

債務は増えていない: FY26 は社債を発行せず、\$3.0B を返済しました。長期債務の元本は \$46.1B で、うち \$9.25B が FY27 に満期を迎えます。直近の四半期以降、Item 8.01 や 2.03 の 8-K は提出されていません。

原資料にしか書かれていないこと

未開始のリース \$329.1B: 主にデータセンターで、FY27-FY33 に開始し、期間は 1-20 年、「一部は特定の契約条件の充足が前提」です。計上済みのファイナンス・リース負債は \$46.2B から \$66.6B に増えました (10-K 注記 13)。

契約上の義務は合計 \$743.8B: うち購入コミットメントが \$194.1B (FY27 中に \$169.0B)、建設仮勘定のコミットメントが \$34.6B です (10-K)。比較として、現金と短期投資は \$76.8B です。

OpenAI は関連当事者であり、大口顧客でもある: FY26 の OpenAI からの売上高 (レベニューシェアを含む) は \$24.1B で、総売上高の 7.3% です。投資コミットメントは \$13.0B で、うち \$11.9B を拠出済みです (10-K)。FY27 第1四半期の商業受注ガイダンスはわざわざ「前年の OpenAI 契約を除く」と明記しており (8-K、2026-09-02)、前年の受注に占める OpenAI の比率が大きかったことを示しています。ただし具体的な数字は開示されていません。

セグメントと指標の定義が FY27 から変更（8-K、2026-09-02）。詳細はイベントの時系列を参照してください。

non-GAAP の定義：変更はなく、一貫して OpenAI のみを除外しています。「no longer exclude」のような文言は見つかりませんでした。

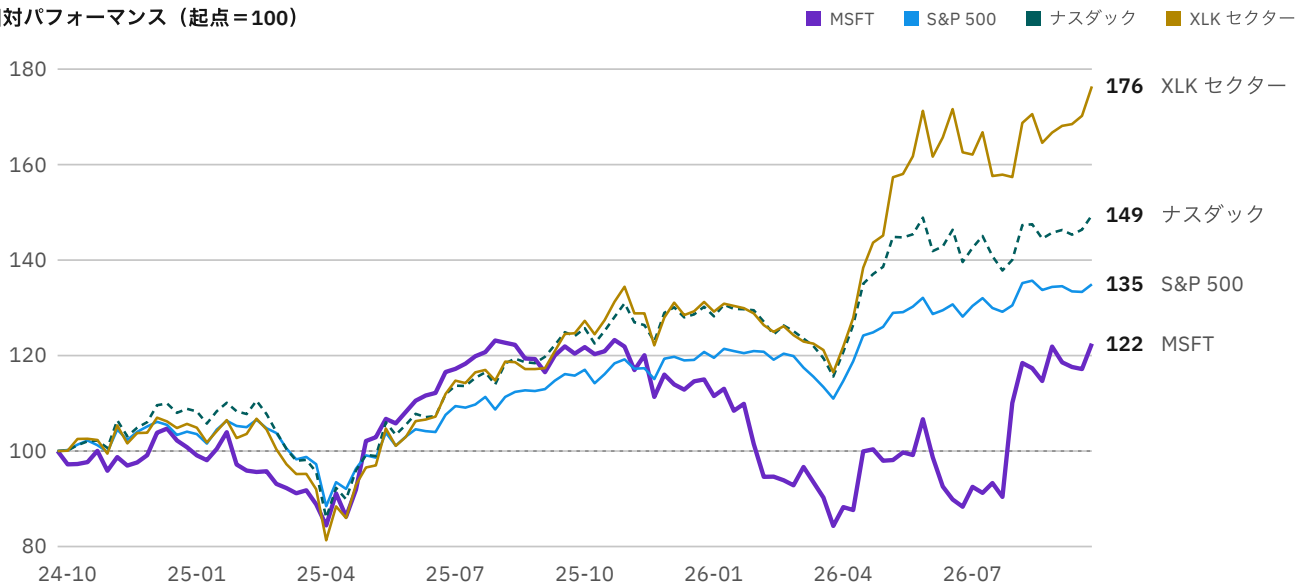
データベンダーの誤り

項目	yfinance	原資料（計算方法つき）
freeCashflow	\$16.5B	\$67.0B = 営業キャッシュフロー \$182.9B – 有形固定資産の取得 \$115.9B（10-K）
forwardPE	21.8x	FY28（2028-06 期）の EPS \$23.68 を使っています。FY27 の EPS \$19.76 で計算すると 26.1x です
totalDebt	\$128.8B	社債は \$40.3B のみです。ファイナンス・リース \$66.6B とオペレーティング・リース \$21.9B を加えた 3 項目の合計が、ちょうど \$128.8B になります（10-K）
四半期の total_debt	\$56.8B	社債 \$40.3B + 長期オペレーティング・リース \$16.5B（推定）にほぼ一致し、異なる定義が混在しています
Normalized Income	第2四半期 \$38.2B、第4四半期 \$33.4B	会社の調整後ベース：第2四半期 EPS \$4.14（GAAP \$5.16）、第4四半期の純利益 \$35.3B（8-K）。yfinance は除外の方向も金額も一致しません
earningsGrowth / profitMargins	31.7% / 40.3%	OpenAI 関連益でかさ上げされています。調整後の純利益成長率は 22%、純利益率は 38.8%（\$128.8B / \$331.8B）です
第4四半期の上振れ幅	+11.8%	Anthropic 関連益 \$3.2B を含みます。会社は、一時的項目が自社ガイダンス比で +\$0.27 寄与したと説明しています（8-K、2026-07-29）
dividendYield	0.76	パーセント表示で、0.76% のことです

05

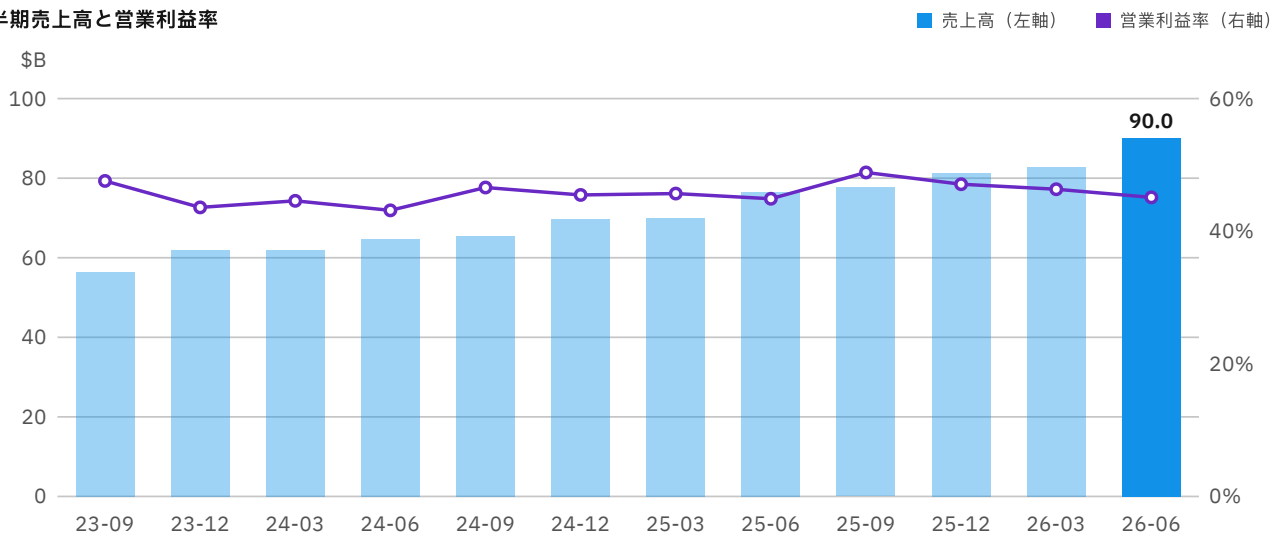
株価の推移

相対パフォーマンス（起点=100）



週次終値（調整後）、2024-09-29 を100として指数化。右端の数字は期末の値です。

四半期売上高と営業利益率



直近12四半期。出典：SEC XBRL。

06

同業比較

ティッカー	名称	時価総額	1カ月	年初来	1年	PER 実績	PER 今期	売上成長率	粗利率	営業利益率
MSFT	Microsoft Corporation	\$3,832.8B	+4.0%	+7.4%	+2.6%	28.7x	26.1x	+17.7%	67.9%	45.1%
GOOGL	Alphabet Inc.	\$4,206.1B	+0.6%	+10.1%	+40.3%	17.3x	16.7x	+24.2%	60.9%	34.0%
AMZN	Amazon.com, Inc.	\$2,693.0B	-4.1%	+8.2%	+14.4%	20.1x	19.4x	+19.6%	50.8%	13.7%

ティッカー	名称	時価総額	1カ月	年初来	1年	PER 実績	PER 今期	売上成 長率	粗利率	営業利 益率
ORCL	Oracle Corporation	\$414.6B	-7.9%	-29.0%	-52.4%	21.5x	16.8x	+29.6%	64.0%	35.6%
AAPL	Apple Inc.	\$4,977.6B	+8.8%	+25.8%	+33.3%	39.1x	38.7x	+16.4%	48.7%	32.6%
META	Meta Platforms, Inc.	\$1,914.9B	+30.6%	+14.2%	+0.7%	28.3x	24.1x	+28.0%	81.7%	34.8%
yfinance の集計で、決算書とは照合していません。今期PER=株価÷今期 (0y) 予想 EPS。forwardPEが来期ベースになる問題を避けています。同業の出典: --peers。中央値は営業利益を指します。		\$2,693.0B	+0.6%	+10.1%	+14.4%	21.5x	19.4x	+24.2%	60.9%	34.0%

同業他社は大手クラウド・プラットフォーム企業（GOOGL、AMZN、ORCL、AAPL、META）を手作業で選びました。yfinance が自動で挙げる同業は PLTR、PANW、CRWD のようなセキュリティ・ソフトウェア株で、規模も収益化の段階も比較にならないため使っていません。当銘柄の今期予想 PER は 26.1x で、同業中央値 19.4x を上回ります。営業利益率 45.1% は同業で最も高く、売上高成長率 17.7% は同業中央値を下回ります。1年の上昇率 +2.6% は、同業の中で ORCL と META を上回るだけです。注意：同業のデータは yfinance の集計値で、各社の決算資料とは個別に照合していません。

07

スマートマネー

誰が持ち、誰が売買しているか：追跡している人物のうち 3 人が MSFT を保有

人物	データ	報告期間	評価額 / レンジ	ポートフォリオ比率	四半期の変化
ビル・アックマン	13F 保有	2026-06-30	\$2.3B	11.9%	買い増し
段永平	13F 保有	2026-06-30	\$281M	1.5%	一部売却
レイ・ダリオ	13F 保有	2026-06-30	\$266M	1.1%	一部売却
デビッド・テッパー	13F 保有	2026-06-30	\$0	0.0%	全売却

各人物の最新の公開済み 13F、インサイダー報告、資産開示から。13F には約45日の遅れがあります。スマートマネー→

08

この先の注目点

2026 年 10 月下旬 次回 FOMC

ドットチャートは年内にもう1回の利上げを示唆しています。10年債利回りが 5% 超で定着するかが焦点です。正確な日程は FRB の公表スケジュールで確認してください。

2026-10-29	FY27 第1四半期決算（新セグメントでの初の報告） 市場予想は EPS \$4.72、売上高 \$90.66B です。会社ガイダンスは売上高 \$89.85–\$90.95B、営業利益率は前年同期並み、その他収益は約 -\$0.1B（OpenAI を除く）で、第4四半期のような投資益は見込んでいません。焦点は、Azure が 44–45%（為替一定、新基準）に届くか、設備投資が \$50B を超えるか、耐用年数変更の具体的な内容です。
2026-11-19	配当権利落ち日 12月10日に支払い（yfinance calendar）。
2026 年内（日期末核 実）	年次株主総会 Reid Hoffman 氏の任期はここで終了します（8-K、2026-06-05）。
持続	OpenAI と未開始リース HLBV 法の下では、OpenAI 関連の損益が今後も GAAP 利益を振らせます。\$329.1B のリースの開始に伴いリース負債と減価償却費がどのペースで増えるか、フリーキャッシュフローが持ち直すかを見ます。

出典

株価・アナリストデータ：yfinance + SEC EDGAR、2026-09-25 終値時点、遅延あり。財務データ：SEC EDGAR（XBRL と原資料）。マクロとニュースは各項目のリンク先を参照。赤が上昇、緑が下落。

ウェブ検索：CNBC：FRB の9月会合の決定、CNBC：9月17日の市場、AP/The
Columbian：原油価格。

AlphaScope · alphascope.cc/ja/reports/2026-09-25-msft · 2026-09-30 作成
財務データは SEC EDGAR の原資料から。株価データには遅延があり、出典は各レポートに明記しています。
レーティングはすべての読者に向けたリサーチ上の見解であり、個人への売買の推奨ではありません。投資にはリスクがあります。最終判断はご自身で。